

今月の御教え

めでためでたの若松様よ枝も栄える葉も茂るといふではないか。金光大神は子孫繁盛家繁盛の道を教えるのじや。

……金光教祖御理解 第百節……

解説

この「めでためでたの若松様よ枝も栄える葉も茂る……」の唄は昔から全国各地において結婚式や上棟式等のめでたい席で唄い継がれてきた唄であります。この松という木は古来よく和歌や詩に詠まれ文章にも書かれ、お社やお寺の境内や城壁、又、一般家庭の庭にも好んで植えられ愛されてきた樹木です。その根は大地にしっかりと根付き、幹は威厳のある力強い形を成し、そして枝を四方に勢い良く伸ばし、年年歳歳、新緑を増し、そして永いものは百年も千年も栄えて来ています。教祖金光大神様はこの事にちなんで、私達の信心も、松の根が大地に根付く如く、生神金光大神様天地金乃神様に確しかとお継すがり申して、世の中の動静に動揺することなく、ひたすら御教えを頂き一心に信心の稽古に努め、松の枝が拡がり、新芽の緑が茂り栄えてゆく如く子孫繁盛家繁盛の御蔭を蒙って欲しいとの願いを込めた御理解であります。今年も又、共々に元氣でお蔭を頂きましょう。